

# エース・ハンター

## 櫻井八重

管野研一 画

「自分を喰らせるほどの『濃い血』がほしい」

一代で有力企業を育て上げたカリスマ社長は、  
社内に後継者を探しあぐね、彼女にたどり着いた——。

現役女性ヘッドハンターが描き出す

「極秘ミッション」のリアルな舞台裏



拝啓

突然、ご勤務先にお手紙をさしあげる無礼をお許しください。

貴殿におかれましては、時下ますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

この度、貴殿をスカウトしたいといふ、ある企業様から依頼を受け、連絡をさせていただきました。

まずは、クライアント様の代理人である私と一度お会いいただけませんでしょうか。

なぜひととご検討のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

「日下部さん！」

オフィスに戻ると、ベテランの女性事務員が、物言いたげな顔で、ずいと近寄ってきた。

「また、ニシ」さんとかいう女性から、電話がありましたよ——

ここ二週間の間に同様の電話が何度かあったようだが、日

新刊 10月24日第3種郵便物認可 年425号 11月22日発行 (毎月22日発行) 10月22日発行

# 小説新潮 11

2013 NOVEMBER

新連載 伊東潤 横口有介

下部秀剛

石田春

大和田浩子

櫻井八重

須藤晃

音楽プロデューサー

ザ・プロフェッショナル

—仕事人、仕事を語る

編集長 永田優子

企画編集部 李田シゲル

企画編集部 田口普史

企画編集部 仁志小夏

企画編集部 関西真司

企画編集部 石田春

企画編集部 大和田浩子

企画編集部 櫻井八重

企画編集部 仁志小夏

企画編集部 須藤晃

企画編集部 ザ・プロフェッショナル

企画編集部 —仕事人、仕事を語る

下部秀剛は仕事柄、不在のことが多い、電話を受けたのはすべて彼女だった。社員は皆、直通番号を持っており、個人宛の電話が部署共通の回線にかかるることは、通常ほとんどない。日下部のような営業職の人間であれば、社用の携帯電話も貸与されるため、なおのことだ。それなのに、聞いたこともない社名の、しかも“女性”から何度も電話があれば、「本当に仕事の相手なんでしょうね?」と、疑いの眼差しを向けたくなるのだろう。だが、今日の日下部は、そんな話に付き合う余裕などなかつた。

「ああ、何かの売り込みだろうから、そのうち諦めるだろう。次から取り次がなくていいから」